

人為淘汰

世人の愛玩せる、きく、あさがほつつじ、つばきおもとのごとき植物、又は、はと、にはとり、きんぎよ、モルモトのごとき動物には、種々なる變生物あること、常に、人の知るところなり。斯く、同一種のものの中に、多くの變化を生ぜしは、全く、人力の與かるところなり。然れども、生物は、もと、人工物にあらずれば、吾人の意匠に依りて、隨意に製作し得べきものにあらず。人力は、只、其の變化を幫助するに過ぎずして、元來は、生物の種類が、みづから變じ易きものなるが故なり。されば、生物の變ずるは、もと、自然なれども、人は、己の意志に依りて、自由に、之が選擇をなし、益、其の變化を遂げしむること、前の自然淘汰に異ならず。故に、之を人為の淘汰と呼ぶ。

第二十七章 生物の進化

動物には、許多の種類あり。然るに、同一種に屬するものも、其の形質の全く相同じき者なく、幾分の不同あり。變種とは、此の不同の漸く著きものにして、異種に至れば、全く不同のものとなるなり。

生物の進化  
 變種  
 個體間の不同者  
 異種  
 全く異なる者

種類の分  
 かれたる  
 原因

進化論

今、生物の子が、親と相肖することは、其の種類の出で定まるところなれども、此く、種類を定むるの原因は、却て亦、其の種類を變ぜしむる要因となれり。何とならば、前のごとく、同一の親より生れたる子にして、多少、形質の異なる者あるときは、子は、其の異なる形質をも、孫に傳ふべければなり。而して、相隣れる世代の間には、斯かる個體間の不同は、實に、僅微なりといへども、數多の世代を重ねるときは、此の徐々なる變化は、終には、全く異種の生物をも、發現するに至るなるべし。これ、即、生物に種類の別かれたる根源なりとす。

進化論者は、太古に在りては、生物は、簡單にして、各種、其の根本を一にすれども、外界の變遷に伴なひ、次第に進化して、遂に、今日見るごとき、千萬の異なる生物を現出し、今、尙、現出しつつあるものなりと云へり。何とならば、外界の情況は、年を

原始的の生物

系統的發生と個體發生

追うて變ずるものにして、我が地上の有様は、決して、萬古不易なるものにあらず。故に、生物の形質も、之に應じて、變化せざるときは、決して、系統を永遠に維持すること能はざるべし。されば、現今、地上に棲息する生物の種類は、無数なれども、これ、一の種類より、次第に、他の種類を生じ、斯く、複雑に向ひしものにして、茲に、**原始の生物**を考ふるときは、唯、單純なる原形質の塊にして、恰、今日の單細胞體に見るがごとき者なりしなるべしと云ふ。

今日、存する數多の生物が、前のごとく、單純なる原始の生物より、次第に進化し來たる順序を、其の系統的發生と呼ぶ。此の系統的發生は、恰、**個體發生**の順序と符合せり。即、或種の生物が、卵子より發生して、其の體の成育を得るまでの變化は、其の種が、原始的生物より、次第に進化し來たれる順序と、相一致せるものなり。

動物の分布

分布の異なる原因

- 一、氣候に順す
- 二、土地の變遷に基づく
- 三、其の移住力に關す

### 第二十八章 動物の分布

動物は、種類の衆多なるがごとく、地上に於ける分布の區域も、また、甚錯雜せり。今、此の分布の異なる原因は、一にして足らざれども、其の主要なるものを擧ぐれば、第一は、氣候に順するもの、第二は、土地の變遷に基づくもの、第三は、自己の移住力の多小に關するもの是なり。

第一の原因なる、分布の氣候に順することは、寒帶の動物には、温帶と同じからざる者あり。温帶の者は、また、多小、熱帶と異なれるを見て知るべし。然れども、氣候が單に、緯度の高低にのみ關せず、種々なる他の原因によりて、變ずるごとく、動物の分布も、また、決して、氣候にのみ順するものにあらず。何とならば、同じ氣候帯にある者にして、新世界は舊世界と異なり、又濠洲は亞非利加と同じからざるを見て知るべし。是

等は、第二の原因なる海陸の變遷に基づけるものにして、土地の連續せる間は、動物は、容易く移住を得れども、一旦、其の連絡を絶つときは、各別に、新なる種類を發達せしむるが故に、海洋は、常に其の分布の區域を定むるものとす。海洋と同じく、高山もまた、これが境界を分かつことあり。

生物分布の狀を察するときは、みづから、地上過去の變遷を知ることを得べし。例へば大洋洲に於ける動植物は、一般、他の大陸のものと異なるが故に、前世界より特立の土地なりしことを知るべく、又、英國の二大島なる大不列顛と、愛爾蘭との生物を比するに、前者に屬せる者は、後者より歐洲大陸と近似せるが故に、後者の大陸より分離せしは、前者よりも遙かに先なりしを判じ得るがごとし。

以上のごとく、動物の分布は、氣候若くは、土地の變遷に従つて異なるれども、また、第三の原因なる動物自身の移住力に關すること大なりとす。動物は、自在に位置を轉ずるが故に、植物

に比すれば、分布も遙かに自由なり。特に、鳥類のごとく飛行の力ある者は、海洋、高山も、これが交通を遮斷する能はざるが故に、其の分布も從つて弘大なりとす。

中等動物教科書終

明治三十五年十月三十日印刷  
明治三十五年十一月二日發行

中等動物教科書全一冊  
定價一金七十五錢

著作者

大森千藏

發印刷者

東京市日本橋區吳服町一番地

株式會社普及舍

代表者

取締役

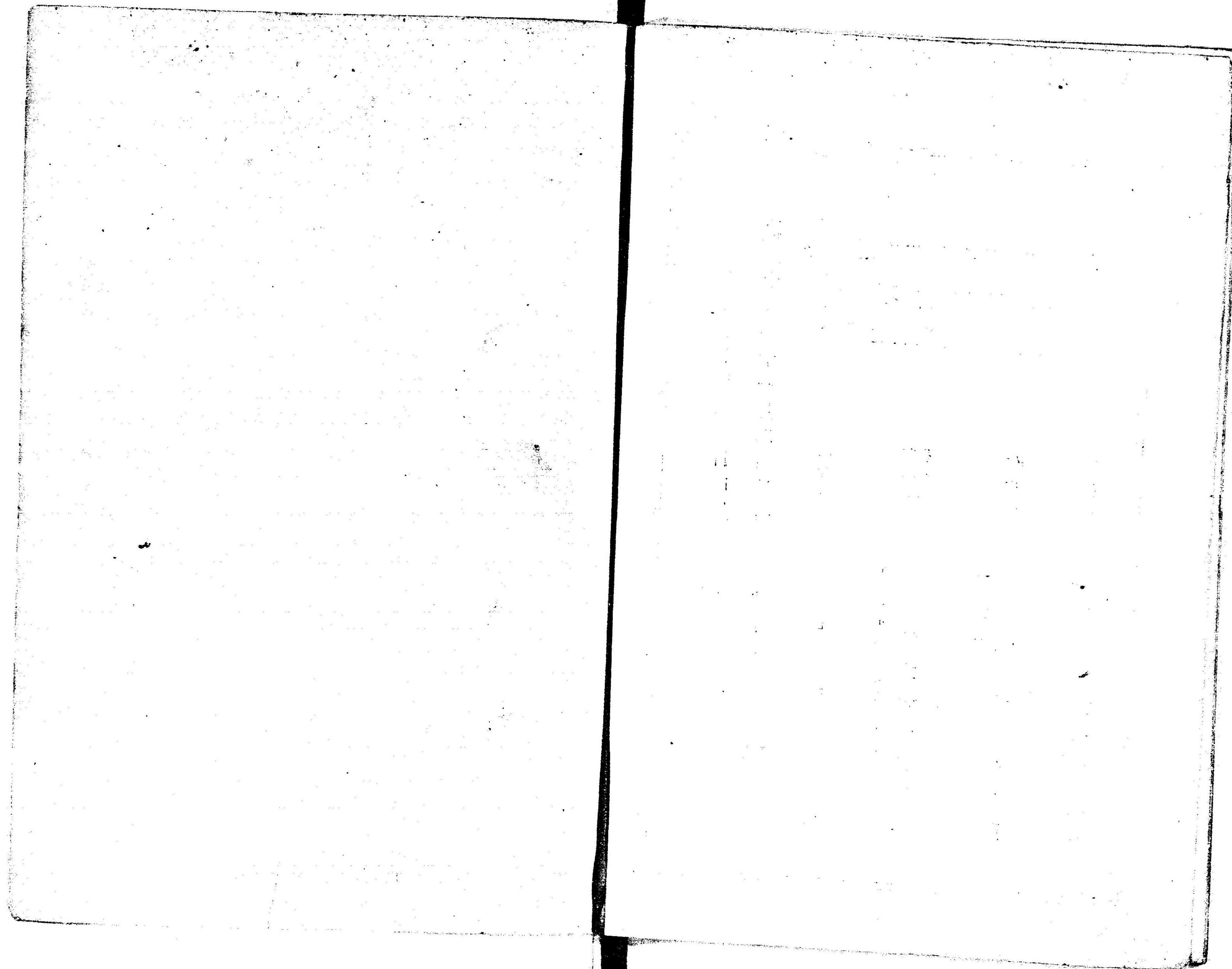
中川九郎

賣捌所

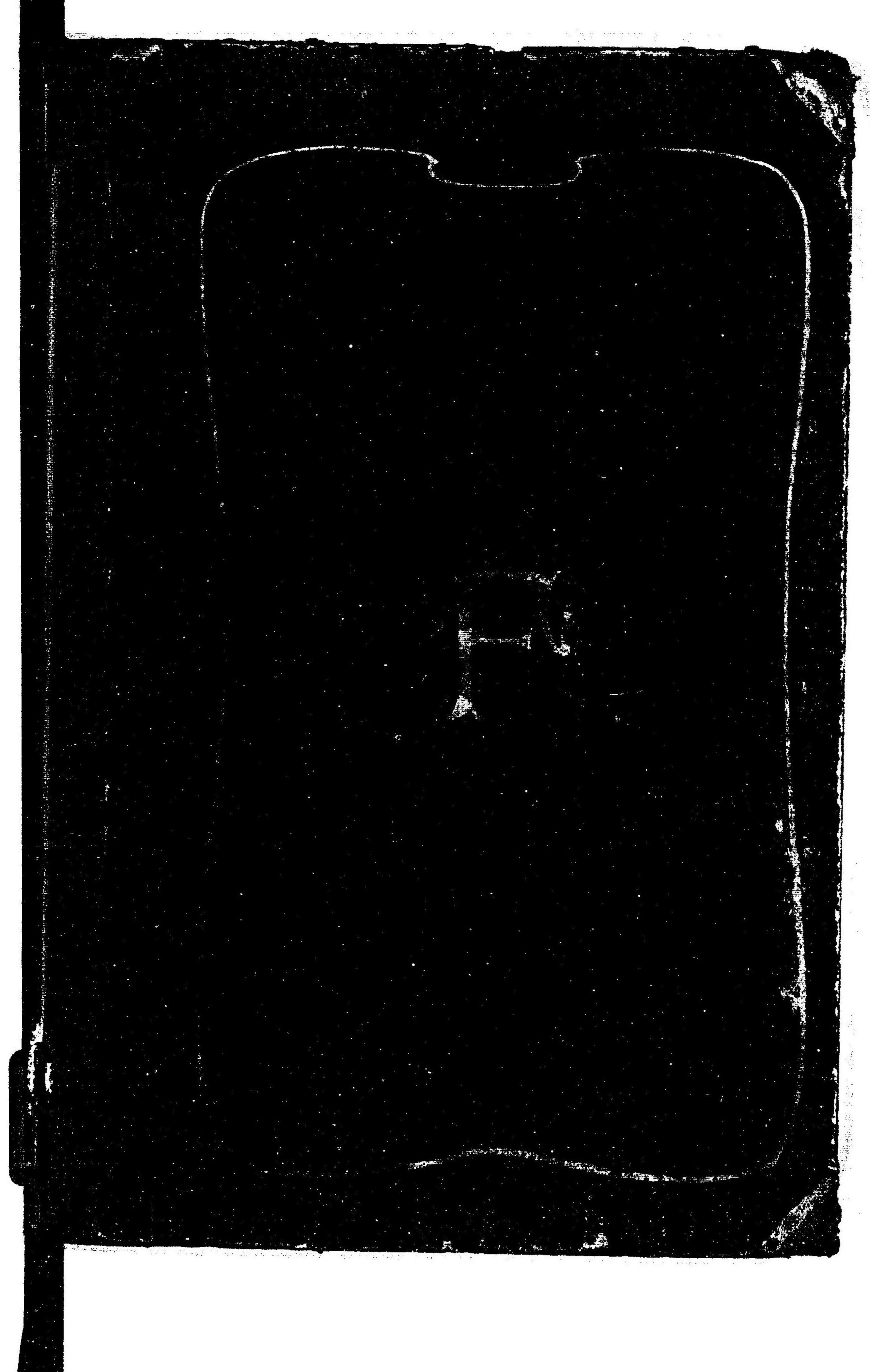
各府縣特約賣捌所



不許複製



86  
225



86  
225

057529-000-2

86-225

中等動物教科書

大森 千蔵/著

M35

CAR-0109





86

225



